

平成 23 年度豊かな環境創造基金活用事業  
ビオトープと雨水タンクの設置（子どもの森計画第 1 弾）

学校法人みどり学園みどり幼稚園

### 1、事業報告

- ・ビオトープを設置することによって、子どもたちがより自然に近い形でメダカなどの水生生物に遭遇し観察できる教育環境を整えることができました。
- ・雨水タンクを設置することで、地球の限りある資源をより有効に使うことの大切さを子どもたちと共に学ぶことができる環境が整いました。



### 2、事業成果

- ・池は程よい深さで安全で且つ子どもたちからすぐに手の届く距離にあるので、水生生物をより身近に観察できるようになり小動物への興味や関心をさらに高められるようになりました。
- ・みんなで池の生物について考える機会を持ち、子どもたちなりに小動物へのいたわりの気持ちや配慮も育める環境が整いました。
- ・雨水タンクに溜まった水で自分たちでお花に水遣りをするすることで、水は限りある資源であり、水はお花や野菜だけでなく、人間を含め全ての生き物の生命の源であることを子どもたちなりに感じ、考えられる良い環境が整備されたように思います。

### 3、今後の課題

- ・子ども達の水生生物への関心をさらに高めるために、めだかだけにとどまらず、やごやおたまじゃくしなども放流して水辺の生物が住み着けるような小さな自然を園の一角に作っていききたい。
- ・このタンクには水量メーターがついていないので今どれくらい水が溜まっているかがすぐにはわかりにくいですが、今後も先生が定期的にタンクの中を覗いて、水がタンクにいっぱい溜まっている時には、『今日は水がたくさん溜まっているのでみんなで砂場で川を作って遊ぼう』だとか、『最近雨が少ないので、お花の水遣りのために水を節約しよう』だとかを、子どもたちとともに考え、限りある資源の大切さを体験を通して学んでいきたい。